

JIS Z 6017準拠 ランダムエラー検出性能確認用基準ディスク

For Checking BD Drives, BD Measuring Instruments

TP4A-R50RSER

1. 使用目的・特徴

本製品は「JIS Z 6017 電子化文書の長期保存方法」に準拠した基準ディスクで、BDドライブやBD計測器等の、ランダムエラー（以下RSER）の検出性能の確認用に最適なテストディスクです。

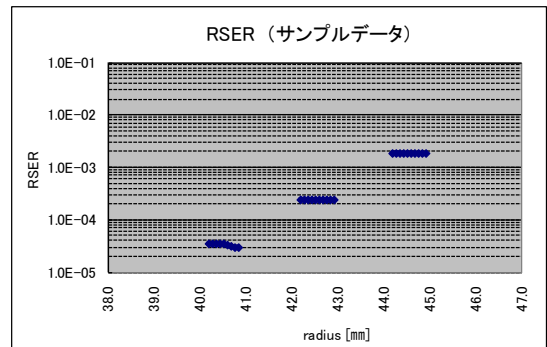
本ディスクは、RSERの値を大きく3段階に変化させており、各々の領域内でのRSERの変動幅を極力抑えると同時に、測定に十分なLDC数（Long Distance Code）を記録していますので、安定してRSERの測定を行う事が出来ます。

（RSERは、BD規格の Random SER 10kに相当するものです。）

アプリケーション例

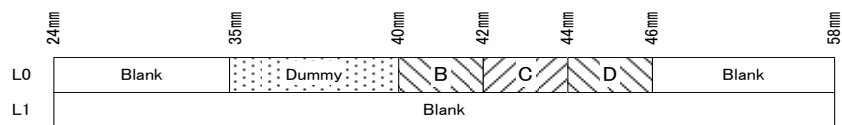
記録後のエラーレートを測定する計測器や、エラー計測機能付きのデュプリケータ等の始業点検にて、本ディスクを用いて測定を行い、計測ドライブに異常が発生しているか否かの判定用途として最適です。

もちろん記録後だけでなく、マイグレーション時に用いる測定器においても、同様の用途にお使い頂けます。



2. 仕様

- ・ 使用ディスク原盤 : 三菱化学メディア製 BD-R DL 6X Enterprise Grade for Archive 型式: PABS25RDJP
- ・ 記録内容 : Layer0側の一部分のみに記録を行っています。
RSERが管理されている、B、C、Dの3箇所を御使用ください。



B～Dの領域には、ランダムデータを記録しており、Disc Statusは『Complete』です。

- ・ 測定推奨アドレス & 特性管理 : B～Dの領域の境界で、ライトストラテジーを変化させて記録していますので、RSERを測定する際には、境界の前後を避け、以下のアドレス（PSN）の範囲内で御使用下さい。特性は、RSERの値を管理しています。故意にRSERの値を調整していますので、ジッターやアシンメトリ等は、BDのBook規格値から逸脱させています。
本製品には、B～Dの領域のRSERの測定データを添付いたします。添付データにはB～Dの各領域毎に、RSERの最大値を記載しています。

	測定推奨位置					特性管理値
	Radius [mm]		PSN [hex]		Total LDC	RSER Max値
	start	end	start	end		
B	40.02	41.98	549800	5f55ff	22,000	$< 8 \times 10^{-5}$
C	42.02	43.97	5f9000	6acaff	23,000	$< 4 \times 10^{-4}$
D	44.02	45.97	6b1200	76c9ff	24,000	$< 3 \times 10^{-3}$

※Dummy領域は、弊社内で特性調整用に使用する領域です。この領域は特性の保証外ですので、ご使用にならないで下さい。

3. 添付ソフト

パイオニア製ドライブ BDR-PR1M(F/W 1.05以降)を使用して、本ディスクのデジタルエラーを測定するためのソフトウェアと判定用のエクセルマクロをCD-Rで添付しております。

本紙記載の測定値は、弊社基準測定器によります。 外観、仕様は予告無く変更する場合があります。

＜使用上のご注意＞
このディスクのレーベル面にシールを貼る或いはペン等で書込みをすることは避けてください。
また、直射日光のあたる所や高温多湿の場所に放置しないでください。
ご使用後は、必ずレーベル面を上にしてケースに入れ、保管してください。

株式会社 アルメディオ
インダストリアルソリューション事業部
〒191-0065 東京都日野市旭が丘3-1-4
TEL:042-511-0490 FAX:042-511-0482
http://www.almedio.co.jp
E-Mail: tm-sales@almedio.co.jp